

10月28日（月）地域の人と防災学習

6年生は、地域の方と防災学習を行いました。下関地方気象台の方を講師にお迎えし、架空の街で大きな地震が起こり、津波が発生するという設定です。建物の中、サッカー場、海辺の3カ所で地震に遭遇したらどうするか、それぞれのグループで協議をしました。緊急地震速報を受信したら、大きなゆれが発生したら、大津波警報が発表されたらどのような行動をとるのか、それはどうしてか？など、子どもたちも地域の皆さんも意見や考えを出し合いました。

子どもたちが知らなかったことを大人から学んだり、子どもの視点からの小さな気づきを大人が知ったりするなど、子どもも大人も一緒に学びを深めることができました。

次は、11月9日（土）の参観日に保護者の方も交えて、西浦地区、自宅周辺についての防災に関する熟議を行います。

